

～湘北地区の世帯数・人口～		
地域	世帯数	人口
鶴が台	2,604 (+15)	4,668 (-45)
香川	4,894 (+73)	11,730 (+51)
松風台	659 (+2)	1,557 (-10)
甘沼	2,139 (+10)	5,219 (-24)
みずき	1,138 (+26)	3,216 (+50)
湘北地区	11,434 (+126)	26,390 (+22)
茅ヶ崎市	103,789 (+1,067)	241,608 (+595)



発行日 2016年10月1日
第47号
 発行会 湘北地区社会福祉協議会
 会長 杉山 茂紀
 発行部数 9,000部
 広報誌『湘北』は、
 毎年10月と3月に発行しております。

・2016年7月29日現在。()内は対前年比。
 ・今年度は国勢調査による世帯数・人口が発表前のため、住民基本台帳ベースの世帯数・人口。
 ・「鶴が台」は一街区を含む。

「湘北地区社会福祉協議会(湘北地区社協)」は、湘北地区住民の福祉を進める社会福祉団体です。

平成二十八年度の所感

会長 杉山 茂紀

平成二十八年度、前会長の吉田会長より引継ぎました甘沼自治会の杉山茂紀です。

不慣れで不行き届きな点があるかと思いましたが、会員皆様方のご協力とご支援、宜しくお願い致します。湘北社協も創立「三〇周年」となります。記念事業を実施する予定です。さて、介護保険の訪問介護のうち、「要介護1・2」の軽度者に対する掃除や調理、買物などの人のサービスについて、給付を縮小する方向で国は実施を目指しています。湘北社協としてもボランティアの人材発掘が重要なテーマになると思います。

六五才以上の高齢者の人口が、茅ヶ崎市でも本年四月には四人一人の割合となっています。湘北地区でも鶴が台と松風台が四五以上になっています。元気に生活出来る環境、機運、状況を如何に作り出していくかが、大切な使命となっております。

湘北社協としては、次世代を担う子供達の居場所作り、若い人達との世代間交流事業を復活に行う対策を検討する必要があります。

湘北地区社会福祉協議会会長の挨拶



今年度「地域福祉を考える懇談会」で「地域の若い世代との交流を復活にする為には」と題して意見交換会を実施して活発な議論がなされ、本年度中に実施の運びとなると思えます。

介護疲れ、育児ストレス、引きこもり等、自分だけ、家族だけでは問題を解決できない状態になっています。地域で支え合う連携のネットワークづくりも大切な課題となって来ている。

多くの課題が山積していますが、今後共皆様方の一層のご支援とご協力ご理解をお願い致します。



平成28年度 湘北社協 事業計画

1. 活動方針

今年度も湘北地区社協は地区事業、各地域事業、ボランティアセンターの事業を中心に活動します。現在「まちから協議会」、「地域ケア会議」、「豊かな長寿社会に向けたまちづくり」等の事業化が目指されていますが、地区社協としても協力を継続していきます。

さらに、本年は当地区社協創立30周年にあたり、積年の成果を問う記念企画を実施します。

2. 目標達成のための活動

- (1) 住民の福祉と厚生増進に関する活動
- (2) 広報および宣伝活動
- (3) その他必要な活動

3. 事業計画

- (1) 定期総会
- (2) 理事会、役員会は原則隔月に1回開催し、活動の調整と推進を図る
- (3) 課題別実行委員会(6分科会)を設け、各課題の円滑な推進を図る
- (4) 先進地域や福祉関連施設の視察研修
- (5) 湘北地区社協30周年事業(福祉マップ作成)の実施
- (6) 地区コミセンの建設に対する提言と協力

湘北地区の年齢別人口の推移



先進諸国共通の現象である『少子高齢化』がメディアに取り上げられるようになって久しいですが、ではここ湘北地区各自自治体の年齢階級別人口動態はどのように推移してきているのでしょうか。左のグラフは、下から順に十年前・五年前・現在(全て一月時点の集計値)の五年ごとの五歳階級別人口動態を表したもので、縦棒グラフの三色は左から茅ヶ崎市(オレンジ)、神奈川県(水色)、全国(紫色)の値を示しており、茅ヶ崎市の統計値は幾分か若年層にシフトしているが、神奈川県・全国値とほぼ同じ傾向を示しています。

折れ線グラフは、香川(オレンジ色)、甘沼(赤色)、鶴が台(黄色)、松風台(青色)、みずき(黄緑色)各自自治体の人口動態を示しています。

鶴が台・松風台地区は現七十歳代の世代の方の占める割合が市・県の人口比率の倍近くになり、逆に四十歳代未満の青少年・子供の世代は、半分程度の比率に下がっていることが分かります。

香川・甘沼地区は茅ヶ崎市の人口動態

とほぼ同じ傾向を示しています。

みずき地区(平成十八年統計はありませんが)は、幼年代(小学生とその親の世代)が同じピーク傾向を示しており、非常に若い世代構成で、同年代の市・県の人口比率の倍近い比率になっていることが読み取れます。

各自自治体の福祉活動では、ここに示した人口動態を踏まえたプログラム作りと支援体制の充実が求められます。

例えば、鶴が台・松風台地区に見られる高齢化率の進んだ地区は、若い世代の比率が十分ではなく、ボランティアの活用を含めた自治会を超えた湘北地区全体としての支援体制を構築する必要があります。

他方、みずき地区のように若い世代比率の高い地区では、子育て支援に関わるプログラムや支援体制の充実が一層求められ、人生経験豊富な世代の方々の知恵と経験が生かせるものと思われたいです。

なお、ここで使用した統計データは、神奈川県 全国のデータは、総務省統計局のHP (e-Stat)、茅ヶ崎市、湘北地区各自自治会のデータは、茅ヶ崎市のHP (行政総務課) からダウンロードしています。(広報分科会)

分科会活動のお知らせ

第10回ボランティア入門講座

「ボランティア活動ってなに？」 「介助や介護のお手伝いをしたいと思うのですが、どうしたらいいの？」とお思いのあなたに。

湘北地区社会福祉協議会では、ボランティア活動について多くの方に知って頂くため、今年度も「共育ひろば主宰」の牧岡先生を講師にお招きして入門講座を開催いたします。



グループワーク

講座は、講義から体験学習、地域での活動の紹介など全4回です。



日時: 11月4日(金)、11日(金)、18日(金)、25日(金)全4回
時間: 10時~12時まで(11日のみ9時45分となります)
場所: 香川公民館 (4回目25日は鶴が台小学校多目的教室)
募集人数: 25名 (申し込み締め切り: 10月27日(木))
主催: 湘北地区社会福祉協議会、茅ヶ崎市社会福祉協議会

【入門講座内容】(日程は全て11月)

Table with 2 columns: Date and Content. Rows include: 4日 「ボランティア活動とは」 講師 牧岡英夫先生(楽しくて毎回好評); 11日 体験学習(車椅子の操作・アイマスク誘導体験・シニア体験); 18日 湘北地区における地域活動の紹介 ・施設: あかね(寸劇「認知症について」)、ボランティアセンター ・活動団体: 松風台「歌の街」、香川「ふれあいサロン」; 25日 過去に受講された方も対象に、牧岡先生のまとめの公開講座

【お問い合わせ・申し込み】

湘北地区ボランティアセンター 電話 27-2030
*ご参加をお待ちしております。

健康・福祉講座

湘北地区にお住まいの皆様を対象に、健康福祉に関する講演会を、毎年2回開催しています。

一回目の講座は「膝と腰の痛みを予防改善するためのお話と体操」です。昨年度も同じタイトルで講演会を行ないましたが、ご参加いただいた皆様から大変ご好評をいただいたので、今年も開催することとなりました。

講師には、湘南藤沢徳洲会病院より理学療法士の先生をお招きして、膝痛や腰痛を予防するために注意したいポイントや、痛みを改善するための簡単な筋肉トレーニングや体操について、解説していただく予定です。皆様のご参加をお待ちしております。(中島 正幸)

『膝と腰の痛みを予防改善するためのお話と体操』
日時: 平成二十八年十月八日
午後二時~三時
場所: 香川公民館 講義室

公民館まつり

香川公民館まつりは毎年、公民館の一、学習成果の発表、二、地域の交流、三、学習機会の提供を目的として盛大に開催され十月二十九日(土)、三十日(日)の二日間開催されます。

今年には二十八回目を迎え、テーマは「地域の宝だ公民館!ふれ愛♡学び愛♡笑い愛♡」となっています。サークルの日ごろ活動成果の発表や学習成果の展示、バザーなどいろいろ催しがあり、地域の大勢の方が参加され、大変賑わいとなります。

湘北地区社会福祉協議会は十月二十九日(土) 玄関まえの広場にテントを張り、湘北社協のPR活動を行ったり模擬店を出店します。模擬店では綿菓子の実演販売や、駄菓子、飲み物の販売をおこないます。公民館まつりに参加することにより地域との交流を深め、湘北社協の活動の理解をはかっていきます。公民館まつりへ是非参加をお待ちします。(浦田 和廣)

地域福祉を考える懇談会

湘北地区の福祉について考える懇談会は、地域の社会福祉に関わる方たちをお呼びして、毎年4回の意見交換会を行っています。

一年間いろいろテーマで懇談会を開催し、情報交換を行いながら進め、1年の締めくくりとして、地域に飛び出してから良いところ、改善すべきところを発見する「まち探検」や、福祉施設を見学する「まちめぐり」を企画運営してきました。今年には地域福祉を考える懇談会として十年を超えた年であり、湘北社協三十周年の年でもありますので、今までの実績や企画にとらわれない、新たな取り組みをはじめました。

これから目指していく豊かな高齢化社会に向けて、社会的な弱者や高齢者と地域の若い世代との交流を活発に行っていくことが最重要と考え、イベントを通じて親睦や交流が図れて良い絆づくりができるにはどうしたらいいか、模索を始めました。

この懇談会の活動を通じて若い世代の方も、だれもが安心して暮らせる地域とは何か?考えるきっかけになればと思っています。(深栖 健男)



ホームページ運営委員会

「湘北地区社会福祉協議会」のホームページによる。地域で暮らす、元氣いっぱい仲間たちが画面いっぱい賑やかに迎えてくれます。

地区社協の主な活動、湘北地区ボランティアセンターの活動報告、健康福祉講座開催のご案内、ボランティア入門講座開催のご案内等、最新の情報を更新しました。どうぞ、ご覧ください。

広報「湘北」のバックナンバーをはじめ松風台の「ひだまり」鶴が台団地の「ほほえみ」等各地域の広報誌の掲載も充実しています。子育てサロンや高齢者のサロンの紹介。買い物支援マップや福祉マップも開いてみると楽しい世界が広がります。(倉林 民子)

コミセン問題その後

コミセン問題のその後の経過と現在の状況について報告します。

前号で紹介したとおり、湘北地区では地区内に各種団体代表による、「コミセン問題検討委員会」を作り、地区の意見をまとめる場として検討を進め、地区案として、図書館分館を雇用促進住宅跡地に移設して、図書館分館跡地に2階建て約550㎡のコミセンを新設する案(G案)をまとめました。(下図参照)

ところが市はこの地区案では「将来このコミセンでは狭すぎる」として不満が出てくる心配がある。また各団体でもG案に異論を持っている人がいる状況がある。市としては改めて各団体の皆さんの声を聞いた上で決めるようにしたい、として各団体メンバーとの意見交換会を開いてきました。その意見のまとめを全体で共有したいとして、九月にも検討

委員会の場で市から説明し、意見交換したいとしています。

このように市の考え方と地元の見が平行線、膠着状態のため、今後の進め方も問題含みです。雇用促進住宅跡地の購入と活用では市も地元も意見が合っています。当面その合意に基づき雇用促進跡地の購入を行い、その後

の展開策については今後時間をかけて合意を指すことが現実的ではないかとの意見が出ています。(青木 有俱)

Table with 2 columns: Item and Value. Rows include: 敷地面積 1,928㎡, 延床面積(計) 1,109㎡, 香川公民館 824㎡, 図書館分室 249㎡, 窓口センター 34㎡, 建設年月 平成元年3月, 土地取得費 551百万円, 建設費 301百万円

市の提案(A案)

- > 「公民館・図書館分館」を雇用促進跡地に移設(新設)
> 現在の公民館と図書館分館をコミセンとして整備

地元案(G案)

- > 公民館は残し、図書館分館を雇用促進跡地に移設
> 図書館分館の跡地に2階建てコミセン(約550㎡)を新設

参考2:コミセン問題検討委員会参加団体

自治会連合会の各自治会、湘北地区社協、香川小・鶴が台小各推進協、各体育振興会、各PTA・保護者会、香川公民館利用者懇談会、湘北地区民児協

広報分科会

- 坂巻 龍馬 (代表・ライトワウ)
湯川 さだ子 (会計・甘沼)
鈴木 玲子 (書記・香川)
真下 敬一 (香川)
井上 幸雄 (香川)
澄川 篤 (甘沼)
小林 美咲子 (松風台)
林 伝雄 (松風台)
鈴木 健司 (みずぎ)
青木 有俱 (鶴が台)